

6年生の皆さん。本日は予行となりました。いよいよ、明後日は、卒業式です。皆さんの前で話す時は、校長としての授業と定めて、話してきましたが、その機会も、今回を含め、残り2回となりました。卒業式の時間短縮のため、当日の話の半分を、今日伝えたいと思います。では、始めます。

今日は、**ーを+に**、弱点を強みに変換する考え方について。紹介します。

大阪大学で医学を学び、世界のトップレベルで活躍している、若手研究者の方と話をする機会がありました。今川小学校を卒業する子どもたちに、お祝いの言葉をください。と言うと、こんな話をしてくれました。

卒業おめでとう。中学校では勉強する教科も増え、教科ごとで先生も変わりますが、どの教科も分け隔てなく、しっかりと学びましょう。それは、学んだことは、いつかきっと役に立つからです。いつかは、わからない。だけどいざ必要となった時、後悔しないように学びましょう。時間は巻き戻すことができません。

たとえば、図画工作、中学校では美術ですが、目で見て、図や絵で表現する力。医学の基礎である解剖学では、目で見て絵に描く力が必要です。実際に、解剖図が描けなくて単位が取れない人もいます。単位が取れないと、せっかく入った医学部をやめることを余儀なくされます。美術は受験科目ではないと、手を抜いていた。後悔しても、もう中学校には戻れません。

人間は、過去の出来事や経験をふまえて生きています。わかりやすく言うと、自分が生まれ育った環境、体験した事、勉強してきたこと、自分の得意な事、興味がある事。それらを点と点として無意識に線でつなぎ合わせ、現在の自分を形作ってきたと言えます。

これからは、失敗のように見えた、自分の人生に活用する見込みがないように思えたりするものこそ、大切にしてください。実は、そこに、大きなチャンスが隠されている場合が、多いです。

将来をあらかじめ見据えて、まだ来ていない未来を経験に結びつけることはできません。しかし、今真剣に取り組んでいること、4月から中学校で経験すること。それらの点と点が一つの間にか、線でつながって、あなたの進路を、必ず指示してくれるでしょう。そしてそれは、あなたを裏切ることは決してありません。

そう信じて、全力で生き、努力を続けていれば、皆さんはきっと、大輪の花を咲

かせることができます。必ず、夢はかなう時が来ます。必ずそうなります。

失敗のように見えたり、自分の人生に活用する見込みがないように思えたりするものこそ、大切にしてください。自分が得意な事や、プラス方向の物だけを結ぶのではなく、発想を転換させましょう。マイナスをプラス方向に変える力を発揮させる。不得意な事や、欠点を補強する考え方をつなげる事も、とても大事です。こんな考え方をするといいですよ。

自分が得意なことは、ほかの人も得意かもしれない。ということは、世界中に競争する相手が、たくさんいます。実際 iPS細胞の山中先生や、心臓外科のトップの澤先生から、チームに入らないかとオファーがきました。既に、200名以上の天才がひしめくチーム。そんなところに誘われても、全然うれしくありません。

逆に、自分が苦手なことは、ほかの人も苦手かもしれない。ということは、苦手を克服して得意分野にすれば、世界でも戦えるチャンスがあるということです。例えば、私は、こう考えて、マイナスをプラスにしました。

私は手先が不器用です。でも自分に合う方法は、必ずあると考えていました。友人たちはガンを切る事ばかり考えます。しかし初期がんさえ発見できれば、特殊な放射線を使った、コンピュータ制御の高度なロボット手術で、体に負担なくガンを消滅させることができます。医者も楽になるし、世界中の患者さんが喜びます。

なので、豆粒大の初期ガンを発見するために、人工知能のディープラーニングを使用したガンの診断方法を開発しました。これは北米の世界的な医学会で発表し、受賞することができました。世界初の考え方・技術だったからです。

現在、午前中にガンを発見し、午後にガンを消滅させる。次の日から普通に生活できる。たった1日で、検診と手術を行い、完治させる。夢のような治療方法を研究しています。これが実用化されれば、世界中のガン治療が大きく変わります。現在、国立の専門病院で、実証研究を進めており、5年以内に完成できればと思います。このように、あきらめなければ、夢は必ず、実現します。

今川小学校のみなさんも、がんばってくださいね。皆さんの活躍を期待します。

以上は、大阪市立の中学校を卒業した、いわば皆さんの先輩にあたる方です。自分の目的を立てた日から、生き方を変えた人です。夢は、必ず実現させることができます。良い手本として紹介しました。今日の授業は、ここまでです。

この続きは、卒業式で....。 (大阪市立今川小学校 校長 梅原直人)